

II 年間指導計画

本校のめざす学校像	<ul style="list-style-type: none"> ・夢や目標を実現する力を育てる学校 ・喜びにあふれた毎日通いたい楽しい学校 ・すべての生徒が安心して過ごせる居場所のある学校 ・保護者が自分の子どもを通わせたい学校 	校訓 学校教育目標	自立 責任 敬愛 自ら勉学に励み、自ら心身を鍛え 自らの進路を切り開く知・徳・体バランスのとれた人間力のある生徒の育成
めざす生徒像	夢や目標をもち、自ら考え、判断し、主体的に行動・表現することができる生徒	いじめ対策委員会：校長 教頭 生徒指導主事 学年主任 学年生徒指導担当 養護教諭 SSW 学級指導及び教育相談担当 *状況に応じて関係学級担任、特別支援教育コーディネーター、スクールカウンセラー等と連携	

《年間指導計画》

	職員会議等	未然防止に向けた取組	早期発見に向けた取組
4月	いじめ対策委員会 ・指導方針の確認 ・1学期計画作成 職員会議※ 生徒向け啓発 (ネットいじめを含む) PTA総会、懇談会	道徳・特別活動計画作成 生徒指導研修 ※2	個人面談・個人状況把握 ※3 家庭訪問
5月	保護者向け啓発 ※4	オープンスクール 修学旅行、林間学校、トライやる・ウィーク	アンケート・個人面談
6月		hyper-QU ※6 オープンスクール 仲間づくり点検週間※5	いじめの実態把握のためのアンケート調査(市教委)※7
7月	いじめ対策委員会 ・情報共有 ・2学期計画作成	hyper-QU 分析	三者面談・個人状況把握
8月	職員会議・学年会議	生徒指導研修	
9月		教育相談・hyper-QU返却 仲間づくり点検週間 体育大会	
10月		学級・学年関係づくり 文化祭 人権教育講話	アンケート・個人面談
11月	保護者向け啓発 オープンスクール・講演会	hyper-QU	いじめの実態把握のためのアンケート調査(市教委)
12月	学校評価 いじめ対策委員会 ・情報共有 ・3学期計画作成	hyper-QU 分析	三者面談・個人状況把握
1月	職員会議 オープンスクール	次学年に向けてのまとめ 教育相談・hyper-QU返却 カルタ大会	アンケート・個人面談
2月	学校評価分析	仲間づくり点検週間	
3月	いじめ対策委員会 ・本年度まとめ、課題検討 ・次年度の基本方針 ・次年度の指導計画策定 職員会議	次年度に向けた クラスづくり	卒業式 教育相談 修了式 個人面談

【未然防止、早期発見に向けて】

- 1 すべての教職員が、いじめ問題の重要性を認識する。
- 2 いじめ対策委員会を中心に、定期的に未然防止に向けた取り組みを行う。
- 3 各個人の様子についてを学年会議等で情報交換を行い具体的な指導の留意点について職員朝礼や職員会議研修会において共通理解を図る。
- 4 各担任や部活動顧問が、いじめの問題を一人で抱え込むことなく、報告・連絡・相談を確実にし、学校全体で組織的に対応する。

危機管理の心構え「さしすせそ」

さ：最悪を想定する
 し：慎重に対処する
 す：素早く対処する
 せ：誠意を持って対処する
 そ：組織全体で対応する

※1 職員会議
いじめ防止基本方針を確認し、指導方針や指導計画を提示し、全教職員で共通理解を図る。

※2 生徒指導研修
いじめの未然防止を含めた生徒指導研修を行う

※3 個人面談／個人状況把握
個人面談を随時実施し、生徒とのコミュニケーションに努め、生活状況を把握するとともに、学級集団の状況を把握する。

※4 保護者向け啓発
ホームページやオープンスクール、懇談会、講演会等を活用して、学校のいじめ防止基本方針を周知するとともに、保護者との連携推進を図る。

※5 仲間づくり点検週間
生徒が主体となって、学級担任や学年教職員とともに学級づくりや仲間づくりについて見直す。期間中にアンケートを行い、いじめの早期発見・未然防止に役立てる。

※6 hyper-QU
QUESTIONNAIRE—UTILITIES(楽しい学校生活を送るためのアンケート)の略。学級集団の状態や子ども一人ひとりの意欲・満足感などを質問紙により測定し、客観的なデータをもとに学級集団づくり及び個人指導に役立てる。

※7 いじめ実態把握のためのアンケート調査
生徒を対象としたいじめ問題への意識調査を実施し、その調査状況を元に保護者をはじめ、必要に応じてスクールカウンセラーや関係機関と連携した取り組みを行う。